

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【1】 計画・設計の見直し 施策8

IC形式の見直しによるコスト改善

事業名：国道212号 三光本耶馬溪道路事業

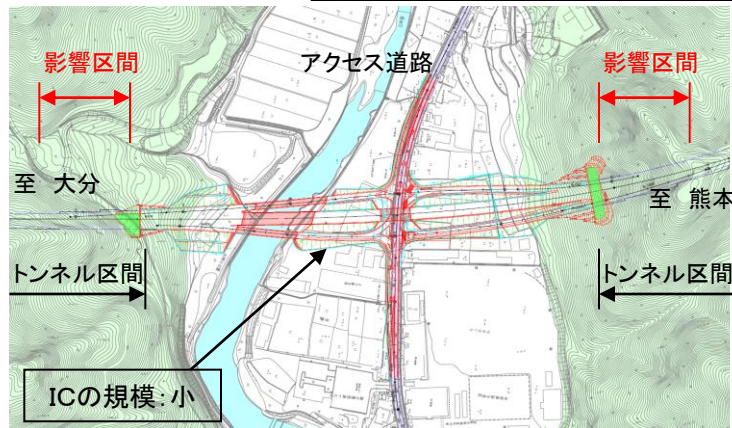
概要：【従来】ダイヤモンド型 ⇒ 【新】不完全クローバー型

効果

- ・当該アクセス道路との接続は、一般的に経済的であるダイヤモンド型構造を採用していたが、トンネル区間に分合流区間が影響しており課題。
 - ・分合流区間のトンネルへの影響を抑えるため、連結路の延長を長くとる不完全クローバー型構造を採用することとし、ICの規模は大きくなるものの、当該箇所全体におけるコスト縮減を図った。
- 工事費を4,100百万円から3,100百万円に改善（改善額 1,000百万円 改善率 約24%）

ダイヤモンド型

分合流区間のトンネルへの影響(拡幅が必要な区間)延長 計425m



不完全クローバー型

分合流区間のトンネルへの影響(拡幅が必要な区間)延長 計169.5m

